

平成26年度 第7回経営協議会議事録

日 時 平成27年3月27日（金）15時00分～17時45分

場 所 ホテルセンチュリー静岡 4階クリスタルルーム

出席者 石川、伊藤、岡部、塩田、杉田、野田、晝馬

伊東、石井、碓氷、浅利、前田、木村、中野、鈴木の各委員

欠席者 大石、川勝の各委員

陪席者 柳澤、東郷の各副学長

鈴木、櫻本の各監事

中村、杉山の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

平成26年度第6回経営協議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 国立大学法人静岡大学経営協議会規則の一部改正について

前田委員から、国立大学法人の改正等に伴う国立大学法人静岡大学経営協議会規則の一部改正について、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

2 国立大学法人静岡大学就業規則の一部改正について

前田委員から、人事院勧告等に伴う国立大学法人静岡大学就業規則の一部改正について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 国立大学法人静岡大学学則の一部改正について

石井委員から、教職センターの設置等に伴う国立大学法人静岡大学学則の一部改正について、資料3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、同センターを含む全学教育に関わるセンターで組織される「全学教育基盤機構」の設置目的や全学的な位置付け等について、説明があった。

4 国立大学法人静岡大学大学院規則の一部改正について

石井委員から、大学院総合科学技術研究科の設置に伴う国立大学法人静岡大学大学院規則の一部改正について、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 役員報酬等の改定について

前田委員から、人事院勧告等に伴う役員報酬等の改定に係る国立大学法人静岡大学役員報酬規程及び国立大学法人静岡大学役員退職手当規程の一部改正について、資料5により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 役員の実績勘案率について

前田委員から、国立大学法人評価委員会が行う年度評価（業務評価）結果及び在職期間における業績を踏まえた役員の実績勘案率について、資料6により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

7 国立大学法人静岡大学役員の報酬について

前田委員から、平成27年4月からの新たな執行部体制の構築に伴い、引き続き役員となる者及び新たに役員となる者の報酬について、資料7により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

8 静岡大学外国人学生規程第11条第2項の規定に基づき、学長が特に必要と認める授業料等の不徴収についての一部改正について

石井委員から、学長が特に必要と認める授業料等の不徴収の対象となる外国人学生に関し、修業年限を超えた場合の対応の追記、及びアジアブリッジプログラムを履修する外国人学生への対応の追加等について、資料8により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

9 第三期中期目標・中期計画の素案（案）の策定について

浅利委員から、第三期中期目標・中期計画の素案（案）について、策定スケジュール等を踏まえ、資料9により説明があった後、意見交換を行った。

（学外委員から出された主な意見）

〔⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⊕：本年1月に文部科学大臣より「高大接続改革実行プラン」が示されており、高等学校教育が柔軟かつ多様なものとなる。入試改革を含めた大学教育の対応が必要となるが、第三期中期目標・中期計画にどの様な形で反映されているのか。

△：入試改革を含めた大学教育の改革については、第三期中期目標・中期計画に記載している。教育改革の主たるものとして、平成28年4月に構築する予定である「地域創造学環教育プログラム」が挙げられる。

⊕：博士課程教育の改革について、どの様な構想を持っているのか。

△：平成27年4月に設置する「総合科学技術研究科」の検討において、既に議論を始めている。修士課程と博士課程の連続性を担保しつつ、新たに示された「卓越大学院制度」を想定し、分野を特定することも選択肢として考えられる。なお、検討にあたっては、学士課程と修士課程の接続性と分けて議論することが必要と考えている。

⊕：博士課程教育については、地域のリーダーを育成することも重要と思われる。

例えば、社会人に対して、防災教育を体系化することなども考えてみてはどうか。

10 平成27年度の年度計画の策定について

東郷副学長から、平成27年度の年度計画について、資料10により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

11 平成27年度予算配分について

前田委員から、平成27年度の予算配分及び本学の予算の状況について、資料11により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(学外委員から出された主な意見)

〔⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⊕：「地方大学の予算の充実を求める声明」についての反応は如何か。

△：声明を出した大学数が少なかったこともあり、報道関係の関心は低かった。今後は、私学を含めた大学教育全般の予算の在り方を訴えていくことが必要と考える。

⊕：国としての高等教育への資金投入の在り方について、全体として声を挙げていく必要があるのではないか。

12 国立大学法人静岡大学業務方法書の変更について

前田委員から、独立行政法人通則法の改正に伴う国立大学法人静岡大学業務方法書の変更について、資料12により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 学長選考会議関係諸規則の一部改正及び制定について

塩田委員から、学長選考会議関係諸規則の一部改正及び制定について、学長の任期等の変更に係る国立大学法人法及び同法施行規則の改正を踏まえた改正及び業績評価や解任手続に係る規則の制定が、学長選考会議において決定された旨、資料13により報告があり、同会議の今後の予定について説明があった。

2 国立大学法人静岡大学監事監査規則の一部改正について

前田委員から、国立大学法人法等の改正等に伴う国立大学法人静岡大学監事監査規則の一部改正について、資料14により報告があった。

3 中期目標・中期計画の変更に係る国立大学法人評価委員会の承認について

東郷副学長から、第二期中期目標・中期計画の変更について、3月3日の国立大学法人評価委員会において承認された旨、資料15により報告があった。

4 平成27年度入試出願状況について

石井委員から、平成27年度の入試出願状況について、志願状況の分析を踏まえ、資料16により報告があり、併せて秋季入学を実施せず定員を充足していないコース等については、二次募集を行った旨の説明があった。

5 平成27年3月卒業・修了予定者の進路状況について

中野委員から、平成27年3月卒業・修了予定者の進路状況及び就職支援状況について、資料17により報告があった。

6 平成25年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置状況について

浅利委員から、平成25年度の監事業務監査改善要望事項に対する改善措置状況について、資料18により報告があった。

7 平成26年度監事業務監査実施結果の報告について

鈴木監事から、平成26年度の監事業務監査実施結果について、評価すべき事項や是正又は改善を要する事項を中心に、資料19により報告があった。

8 平成27年度国際交流基金事業の基本方針及び事業資金について

鈴木委員から、平成27年度の国際交流基金事業の基本方針及び事業資金について、資料20により報告があった。

9 地方国立大学に対する予算の充実を求める声明について

議長から、本会議学外委員からの声明を受けた本学役員等による「地方国立大学に対する予算の充実を求める声明」を3月20日付けで発出した旨、資料21により報告があった。

10 平成26年度実施法科大学院認証評価評価結果について

東郷副学長から、平成26年度実施の法科大学院認証評価について、大学評価・学位授与機構が実施した認証評価において、認証基準に適合していない旨の評価結果の原案が示され、これに対して意見の申立てを行ったが、評価結果については、原案どおりとなった旨、資料22により報告があった。

続いて、中村法務研究科長から、今回の評価結果を真摯に受け止め、必要な改善を行い、十分な検証を行った上で、改めて追評価を受審したい旨、説明があった。

IV その他

1 平成27年度経営協議会開催予定について

議長から、平成27年度の本会議の開催予定について、資料23により案内があった。

2 国立大学を取り巻く状況等について

前田委員から、国立大学を取り巻く状況等について、資料24により報告があった。

3 未来創成基金の受入状況について

前田委員から、未来創成基金の受入状況について、資料25により報告があった。

4 平成27年度静岡大学一般入試（前期日程）における入試事故について

石井委員から、平成27年度静岡大学一般入試（前期日程）における3件の入試事故の概要について報告があり、併せて再発防止に係る今後の対応等について説明があった。

5 静岡大学関連新聞記事について

議長から、静岡大学に関連する新聞記事について、参考資料により紹介があった。

- 委員から、国立大学における評価の仕組みについて質問があり、東郷副学長から、大学評価の概要について説明があった。

以 上